

## 第4回技術士制度・試験講習会実施報告

平成26年3月10日  
日本原子力学会 教育委員会  
技術者教育小委員会

今年も技術士資格取得を目指す受験生を対象として「第4回技術士制度・試験講習会」を開催した。当日は22名の受講者の参加があり、最後まで熱心に受講して頂いた。当日の概要を以下の通り報告する。

1. 日時：平成26年2月1日（土）13：10～17：00
2. 場所：東京都市大学 渋谷サテライトクラス
3. 主催：日本原子力学会、共催：東京都市大学・早稲田大学共同原子力専攻、日本保健物理学会
4. 参加受講者：22名

### 5. 講習内容（総合司会：佐々木聡技術士）

#### (1) 講習会開催にあたって

講習会の開催にあたり、「学生への技術士資格取得に向けたメッセージ」として東京都市大学大学院工学研究科共同原子力専攻 松本哲男主任教授から、また「技術士資格取得の勧め、原子力学会における技術士制度への期待」として当小委員会 浜崎学委員長より挨拶した。



#### (2) 技術士制度・試験の紹介：和田隆太郎技術士

和田技術士から技術士制度と技術士試験について、平成25年度より改正された試験制度のポイントについて自身の経験を交えて紹介された。

#### (3) 技術士試験の心構え・体験談

##### (3-1) 第一次試験向け：西村丹子技術士、丸下元治技術士

西村技術士からは、自身の受験動機、1次試験対策、参考書、参照WEBサイト、合格後のメリットについて紹介された。

丸下氏からは、受験科目ごとの経験、原子力・放射線部門の受験者数などを話された。

両名とも過去問と日本原子力学会が発行している「原子力が開く世紀」で試験対策を行うことが重要であると話された。



##### (3-2) 第二次試験向け：天田佳孝技術士、乗物丈巳技術士

天田技術士からは、ご自身が受験された2012年度試験の経験と2013年度の試験傾向と対策について解説があった。また、自身の受験スケジュールを経験談を交えながら具体的に熱く講演された。

乗物技術士からは、2次試験の内容と対策を体系的に解説され、ご自身の専門である放射線防護の試験傾向も紹介された。

#### (4) 全体質問：内田剛志技術士、天田佳孝技術士、乗物丈巳技術士、和田隆太郎技術士、



西村丹子技術士、丸下元治技術士

内田技術士から、H25年度試験を中心に最近の出題傾向と対策について解説があった。また、これまでの講義を聞いての質疑応答があり、質疑では、選択科目の選定の仕方、試験問題の傾向、試験対策でのキーワード分類の仕方、経歴書の書き方、口頭試験への対応、試験テクニック等の質問があった。

(5) 閉会挨拶：丸下元治技術士

講師を担当した技術士を代表して挨拶した。

(6) 個別質問、相談コーナー

各講義者に加え、伊藤晴夫技術士/当小委員会副委員長、佐々木聡技術士、井口幸弘技術士、勝田昌治技術士、大門清技術士、根岸孝行技術士、市川禎和技術士、横堀仁技術士、伊藤友加里技術士が担当した。

受講生と講師が、概要質問、一次試験・若年層向け、設計・建設、運転・保守、核燃料サイクル、放射線利用、放射線防護の各ブースに分かれ、個別の質疑応答を行った。全体質問の場では聞きづらい個人的な相談ができるため、終了時間いっぱいまで質疑応答が続いた。各ブースで出された主な質問は以下の通りである。



※概要質問ブース

選択科目の選定、職歴の一貫した業務経歴票を書き方、技術経験の積み方

※一次試験・若年層向けブース

今回該当者なし

※原子炉システムの設計及び建設ブース

技術士の考えるモチベーション維持法、解答用紙への記載方法

※原子炉システムの運転及び保守ブース

選択科目の選定

※核燃料サイクルブース

今回該当者なし

※放射線利用ブース

今回該当者なし

※放射線防護ブース

苦手な科目への対応方法、トピクスについてどういったものを参照すべきか、テクニックについて、自己意見の記述、想定問題のイメージ

6. 次回実施時のフィードバック事項

実施後、以下の要望があった。

- ・ 専門ブースの時間をもっと増やした方が良い。
- ・ 受講者にアンケートをとり、フィードバックしてはどうか。
- ・ 業務経歴書の書き方、口頭試験対応、筆記試験対応といった切り口で講師が説明してはどうか。

以上